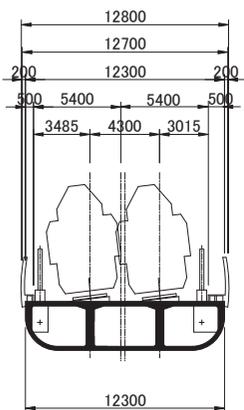


第二千曲川橋梁

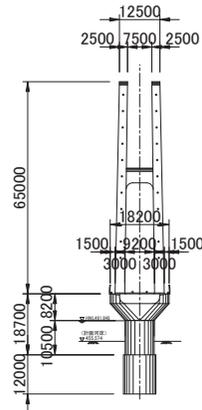
The 2nd Chikuma River Bridge

第2千曲川橋梁は、高崎から小松に至る北陸新幹線が長野県上田市において、一級河川千曲川を跨ぐ位置に計画されたPC斜張橋です。
 鉄道橋としてのPC斜張橋は、国内においては三陸鉄道久慈線の小本川橋梁1橋のみであり、海外において数橋しかありません。鉄道橋は道路橋に比べ活荷重形態が異なり、全荷量に対する活荷量の占める割合が大きく、たわみの制御、衝撃の影響、斜材の疲労等、鉄道橋特有の問題があります。

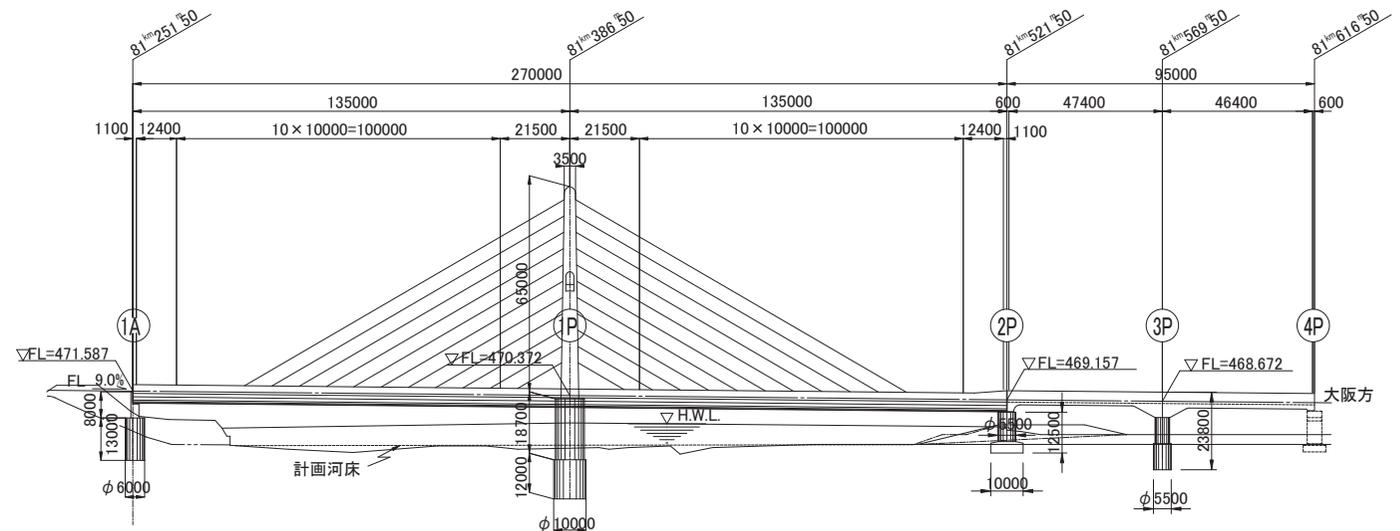
橋種(活荷重)	鉄道橋
構造形式	PC2径間連続斜張橋
斜材配置	2面11段ハープ型配置
橋長	270.0m
最大支間	135.0m
施工法	張り出し工法
定着工法	HiAm
所在地	長野県上田市
発注者	日本鉄道建設公団
完成年	1996年
平成7年度	土木学会田中賞 作品部門受賞作品



主桁断面図



1P橋脚



側面図